



平成27年度

第1回臨床研究部研修会

南和歌山医療センター

開催日：平成27年5月25日 会場：地域医療研修センター

当院職員41名の方にご参加いただきました！



開会の挨拶 藪内副院長



治験コーディネーター 前川 明峰

「治験終了後の情報提供のあり方についての検討」



薬剤師 米原 哲也

「病棟常駐が薬物療法での安全性及び医療の質の向上に寄与する影響 ～当院におけるブリアボイド事例の解析より見えるもの～」



薬剤師 別府 博仁

「地域完結型の医療を目指して～院外処方せんによる血液検査値開示を通じて」

【1部】



外来看護師 仲 千里

「大腸内視鏡検査前処置における腸管洗浄液を服用する患者の身体的・精神的苦痛の軽減に向けて～自宅服用患者対応の選択肢を導入して～」



5階東病棟看護師 柿本 健

「長期臥床患者の下肢運動とリハビリの効果」

【2部】



急性・重症患者看護専門看護師 井上 潤

「倫理カンファレンスの推進に向けた課題」



脳神経脈管病態研究室長 吉村 良

「心原性脳塞栓症の現状と当院の取り組み」



小児アレルギー科医長 土生川 千珠

「小児気管支喘息児の臨床と動物モデルの肺音解析」



臨床研究部長 橋爪 俊和

「安定高血圧患者で外来血圧変動幅から臨床的メッセージを読み取る」



司会 橋爪臨床研究部長



研修会の振り返り

平成23年4月にスタートした臨床研究部もはや5年目に突入し、研修会もどのような方向性を持たせるのか、変換の時期を迎えていると思いつつ、今回の研修会を開催いたしました。やはり、研修会の方向性がはっきりしないままのためか、演題の集まりが鈍く、無理を言って発表していただいた部分もありました。研修会として活発な討論・質問が望ましいのですが、どうしてもやや下火になっている傾向は否めません。幅広い分野の発表のため、活発な討論といっても難しい面は重々承知しております。今後、発表形式の変革や参加人数の確保を得られる会に進化しないと単なる一行事になってしまう可能性が高いと危惧しております。院内行事の中でもより参加者を募れる魅力ある会にすべく、次回にむけて計画する所存です。業務と研究という相反するようで、繋がっている軸をご理解いただき多くの方々にご参加していただけることを切に希望いたします。

臨床研究部長
橋爪俊和



閉会の挨拶 中井院長